

令和5年12月吉日

東員町

町長 水谷俊郎 様

要 望 書

教育民生常任委員会

委員長 川瀬孝代

副委員長 三林 浩

委員 三宅耕三

委員 島田正彦

委員 伊藤治雄

委員 中村 等

委員 広田久男

教育民生常任委員会として、2年間にわたり大きく2つのテーマを決めて実施してきました。委員会での取り組みを通して下記の内容について要望致します。

I 脱炭素社会に向けての取り組み

1) 地球温暖化対策について

- ① 町全体（子ども・住民・企業等）を巻き込むため方策として、まずは周知に全力を注ぐこと。
- ② 計画書はもちろんの事「行動計画」を盛り込み「見える化」にして誰でもフォローアップできるように取り組むこと。

2) ごみ対策について

- ① 町全体（子ども・住民・企業等）を巻き込むため方策として、まずは周知に全力を注ぐこと。
- ② 「ごみ処理」だけではなく、根本的に「ごみを出さない」システムの構築にも重点を置いて取り組むこと。例えば、ポイント付与制度とか「食品ロス」を削減するために飲食店でのお持ち帰りができる（無料）などです。

II 子どもを取り巻く課題への取り組み

1) 東員町子どもの権利条例について

- ① 「東員町子どもの権利条例」を多くの町民に知ってもらうための方策として、強化月間等を決め、集中して認知度を高める具体的な計画を作成して取り組むこと。

2) G I G A スクール構想について

- ① I C T 支援員等専門的知識を有する人材を育成し、教師の負担軽減を図ること。
- ② 誰のためのG I G A スクール構想なのか、幅広い発想で教える側、学習する側の意見等を聴く環境に取り組むこと。

3) 学校の統廃合について

- ① 将来像を見据えて統廃合に関わる全てを洗い出し予算を企てて取り組むこと。
- ② S D G s に沿って住民の声を聴く環境を作って進めること。